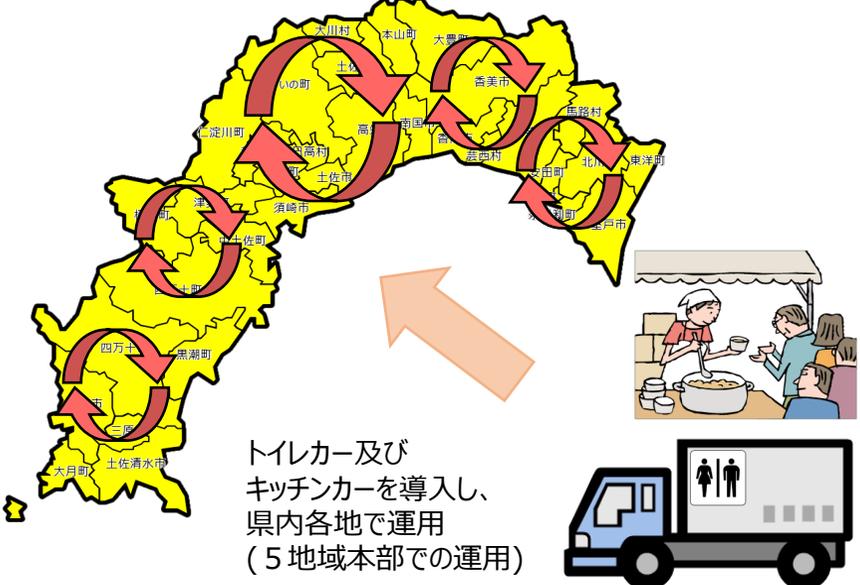


＜参考資料＞ 主な採択事例

	事例内容	自治体名	交付対象事業費 (単位：千円)	資料 ページ
1	トイレカーの導入	高知県	114,000	2
2	キッチンカーの導入	兵庫県猪名川町	20,000	3
3	キッチン資機材の導入	福島県浪江町	9,854	4
4	仮設風呂の導入	神奈川県茅ヶ崎市	76,000	5
5	県・市町村の共同連携の取組	秋田県（北秋田市、男鹿市、湯沢市の共同）	71,500	6
6	女性の視点に配慮した避難所環境の整備	福井県おおい町	13,376	7
7	先進的な防災教育の取組	北海道石狩市	18,223	8
8	地場産業と連携した取組	岡山県井原市	6,906	9
9	防災と関係人口創出に関する取組	長野県小谷村	73,924	10
10	福祉関係の防災力を強化した取組	京都府京都市	95,000	11
11	子ども食堂と連携した取組	福井県敦賀市	76,000	12
12	キャンピングカー、医療用コンテナの導入	愛媛県	114,000	13

事業概要（避難生活支援体制整備事業）

自治体名	高知県	人口	691,527人	事業費	114,000千円
事業概要	<p>県が実施すべき具体的な取組をまとめた高知県南海トラフ地震対策行動計画において、能登半島地震の教訓を踏まえ、避難所の生活環境整備を加速化することとしている。</p> <p>交付金を活用し、トイレカー及びキッチンカーを整備することにより、災害時における避難生活の環境整備を行うとともに、平時においては防災展示等に利活用し防災意識の向上につなげる。</p>				
購入する資機材等の内容	<p><補助事業：民間事業者による導入・運用></p> <ul style="list-style-type: none"> ○トイレカー 5台 5,225万円 キッチンカー 1台 950万円 ※防災意識の向上のためのラッピングも対象 ※トイレカー、キッチンカーを運用するための備品等も対象（ナビなどのオプション） <p><県が購入・運用></p> <ul style="list-style-type: none"> ○トイレカー 5台 5,225万円 ※トイレカーを運用するための消耗品等も購入 		 <p>トイレカー及びキッチンカーを導入し、県内各地で運用（5地域本部での運用）</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）※一つ以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災協定を締結したトイレカーの導入数(自治体導入分含む) ②防災協定を締結したキッチンカーの導入数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）※一つ以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害時における避難所支援対象人数 ②平時におけるトイレカー、キッチンカーの利用日数（地域イベントでの利用含む） 		

事業概要（キッチントレーラー整備事業）

自治体名	兵庫県猪名川町	人口	28,674人	事業費	20,000千円
事業概要	本町では避難所におけるTKBの確保について、キッチン（温かい食事）を提供する態勢が遅れており、その改善の一助として小型車キッチントレーラーと1 t 車トラック移動販売車（牽引車）を整備するもの。平時の利活用については町内イベント等への出店に加え、キッチントレーラー部分については、道の駅での運用、1 t 車トラック移動販売車については移動販売や農家への野菜の集荷に活用する。				
購入する 資機材等の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○小型車キッチントレーラー （被牽引車） 1 式 10,560千円 ※牽引免許の必要の無い車両 ○1 t 車トラック移動販売車 （牽引車） 1 式 8,405千円 ※普通自動車運転免許で運転可能な車両 ○LPガス発電機 1 台 770千円 ○ポータブル電源 2 台 265千円 			 <p>※通常時は切り離して運用、非常時やイベント参加時は、連結して移動・運用、発電機とポータブル電源は、停電想定キッチンカーへの電源供給</p>	
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）※一つ以上】 ①交付金事業で購入した資機材資機材の地域イベントでの利用 ②協定締結事業者の件数			【アウトカム指標（成果指標）※一つ以上】 ①防災の取組に関する町民への認知度 ②48時間以内に温かい食事の提供を見込む避難所数	

事業概要（避難所における温かい食事提供環境整備事業）

自治体名	福島県浪江町	人口	2,250人（町内居住者）	事業費	9,854千円
事業概要	浪江町内の避難所については、原発事故以降、旧小学校単位の4つの地区に防災コミュニティセンターを整備したほか、常磐自動車道浪江インター付近に、防災備蓄倉庫を兼ねた防災交流センターを整備した。しかしながら、各施設には調理を目的とした設備がないため、大型炊き出し器及びテント等の必要機材を購入し、迅速な温かい食事を提供できる環境を整備し、地域コミュニティにおける平時からの利活用を図る。				
購入する 資機材等の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○大型炊き出し器等 5組 480.2万円 ○テント 5張 147.7万円 ○ポータブル発電機 5基 60.5万円 ○LEDバルーン投光器 5基 297.0万円 				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①炊き出し資器材等の配備件数 ②交付金で購入した資器材の地域での利用		【アウトカム指標（成果指標）】 ①防災の取組に関する町民の認知度		

事業概要（避難所衛生環境整備事業）

自治体名	神奈川県茅ヶ崎市	人口	246,394人	事業費	76,000千円
事業概要	避難所の環境整備として、これまで取り組んできたパーテーションや簡易ベッド、トイレ対策などに加え、新たに、循環式お風呂システム及び水循環型手洗い器、災害用給水タンク、簡易トイレを整備することで、避難所生活が中長期的に及ぶような大規模災害が発生した際にも避難所の衛生環境と避難者の心身の健康を確保するもの。災害時の活用に向け、平素においては、地区の防災訓練での取扱熟度の向上を図るとともに、自主防災組織や市民への展示紹介などを通じ、地域住民への避難所の課題の提起、防災意識の向上を図る。				
購入する 資機材等の 内容	○循環式お風呂システム 2式 19,486千円 ○水循環型手洗い器 35台 21,499千円 ○災害用給水タンク 37台 19,240千円 ○簡易トイレ(マルチトイレ) 66台 10,205千円 ○上記資機材保管倉庫 1基 5,570千円 合計 76,000千円				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）※一つ以上】 ①水循環型手洗い器及び簡易トイレの導入数 ② ③		【アウトカム指標（成果指標）※一つ以上】 ①災害時の衛生環境が整備される指定避難所の数 ② ③		

事業概要（避難所等環境改善総合サポート事業）

自治体名	秋田県（北秋田市、男鹿市、湯沢市との共同事業）	人口	893,908人	事業費	71,500千円
事業概要	<p>全国で最も高齢化が進んでいる本県においては、特に高齢者等における災害関連死のリスクの低減が課題となっており、広域的な備蓄の確保により市町村の避難所が、国で定める「自治体向けの避難所に関する取組指針・ガイドライン」等を満たすことができるよう、備蓄体制の充実を図るとともに、道の駅等へのキッチン資機材等の整備を通じて、本県における避難所等の生活環境の質の総合的な強化を図る。</p>				
購入する資機材等の内容	<p>【県事業】 県内主要備蓄倉庫に資機材を備蓄する。 ○資機材等購入（避難所等環境改善フォローアップ） ・水循環式シャワー 650万円 × 3セット = 1,950万円 ・リクライニング式簡易ベッド 3万円 × 200台 = 600万円 ○避難生活の手引き作成（在宅・車中泊避難者等支援） ・避難生活の手引き作成 100万円</p> <p>【県・市町村共同事業】 市町村の道の駅等への資機材導入を県が支援する。 ○資機材等購入（在宅・車中泊避難者等支援） ・キッチン資機材及び収納庫等購入費等 1,500万円 × 3式 = 4,500万円 （負担割合：国1/2、県1/4、市町村1/4）</p>		  		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】 ①食事の質の確保に関する資機材の導入数 ②生活用水の確保に関する資機材の導入数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】 ①キッチン資機材の地域イベント等での利用状況</p>		

事業概要（ベビーケアルーム整備事業）

自治体名	福井県おおい町	人口	7,680人	事業費	13,376千円
事業概要	おおい町は子ども子育て支援の充実を目指し、子育てに積極的に取り組める環境づくりを進めている。子どもや保護者の視点に立ち、家庭・地域・行政等が一丸となった子育て支援に取り組んでいるが、町の施設にはほとんどベビーケアルームが設置されていない。本事業では、町の指定避難所に指定されている4つの施設にベビーケアルームを整備することで、災害時における避難所環境の向上を図る。併せて、平時のイベント等でも安心して乳幼児と過ごせる環境整備を行う。				
購入する 資機材等の 内容	○ベビーケアルーム（可搬式） 4台 1,338万円 ・製品名：mamaro（ママロ） ・対象年齢：0か月から ・本体重量：約260kg ・本体外寸：W1800×D900×H2030 ・電源：AC100V/1500W		 		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）※一つ以上】 ①ベビーケアルームの整備件数		【アウトカム指標（成果指標）※一つ以上】 ①ベビーケアルームの利用が見込まれる指定避難所数		

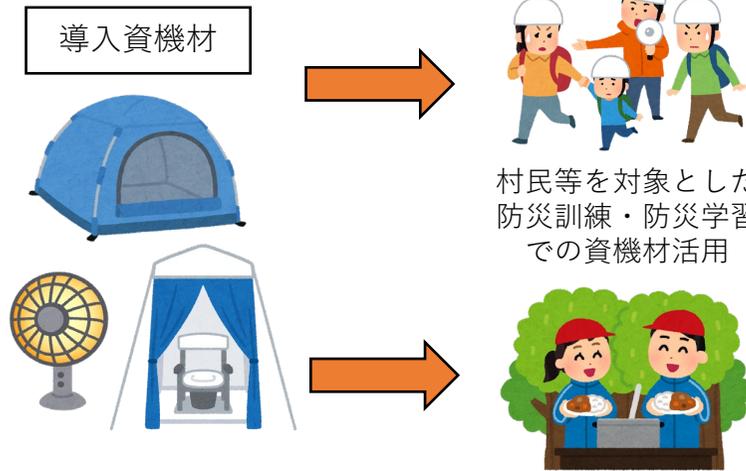
事業概要（地域防災力向上事業）

自治体名	北海道石狩市	人口	57,157人	事業費	18,223千円
事業概要	地域防災力の向上のため、防災訓練への市民の更なる参加とともに、小中学校一日防災学校等の実施により、子どもたちの防災力向上にも取り組む必要がある。この課題解決のためAR/VR技術を活用した災害体験機器を導入し訓練への参加を促進するとともに、テント式パーティションやエアーマットを整備し、冬季避難所運営訓練等における体験を通じ、防災を考える機会とすることで、地域防災力の向上及び避難所の環境改善につなげる。				
購入する資機材等の内容	○AR/VR地震・浸水・火災体験ゴーグル 6台 4,851千円 ○エアーマット 1,858台 12,570千円 ○テント式パーティション 18セット 802千円		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>結果 避難所環境改善・地域防災力強化</p> <p>活用 避難所運営訓練／一日防災学校</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>AR/VR防災教育</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>浸水</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>地震</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>火災</p>  </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>備蓄品の充実</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>冬季対策</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>プライバシー対策</p>  </div> </div> </div> </div> </div>		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）※一つ以上】 ①AR/VRゴーグルの活用回数 ②エアーマットやパーティションの備蓄数 ③購入したエアーマットやパーティションの訓練における活用回数		【アウトカム指標（成果指標）※一つ以上】 ①家庭における防災への取組状況 ②避難所開設と同時にエアーマットが使用可能な避難所数 ③		

事業概要（防災資機材開発・整備事業）

自治体名	岡山県井原市	人口	36,670人	事業費	6,906千円
事業概要	<p>井原デニムなどの地域素材とものづくり技術を活かし、当地域の強みである異業種連携の枠組みを用いて、特色ある防災用の新商品を連続的に開発すると同時に、それを地域産業として育てていく。人口の高齢化など地域の課題を克服しつつ防災力強化を図るため、新技術を活かした防災製品を開発するほか、平常時から自立的に活動を行う仕組みを構築する。</p>				
購入する資機材等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○デニムコット （幅75cm×長さ200cm×高さ35cm 4.0kg） 5セット×3×15か所 = 225セット 4,084千円 ○デニムフロアマット （幅135cm×長さ205cm×厚さ0.6cm 1.8kg） 5セット×3×15か所 = 225セット 2,822千円 	<p>The image shows two pieces of equipment. On the left is a 'Denim Kotto', which is a dark blue, rectangular raised platform with a textured surface and four legs. On the right is a 'Denim Floor Mat', which is a roll of dark blue matting with a textured surface, partially unrolled to show its size and texture. Both items have 'I-Denim' printed on them.</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）※一つ以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①購入した資機材の地域イベントでの利用回数 ②新たな防災資機材の開発への参加企業数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）※一つ以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災に係る取組に関する市民の認知度 ②防災課題に対応した製品の開発件数 			

事業概要（避難所環境改善事業）

自治体名	長野県小谷村	人口	2,811人	事業費	73,924千円
事業概要	<p>災害時に道路寸断した場合を想定し、村内指定避難所9箇所へテント式パーテーションと簡易ベッド、煮炊きこんろ、暖房・冷房機器、簡易トイレ、蓄電池、組立式シャワー、浄水装置、それらを保管する備蓄倉庫を整備し、避難所環境の向上を図る。購入資機材は、自主防災組織の訓練、村内小中学生を対象とした防災学習等、また、包括連携協定企業と連携した防災に関連したイベントにて活用し、防災力と認知度の向上を図る。</p>				
購入する資機材等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○テント式パーテーション 294セット 3,903千円 ○簡易ベッド 521台 6,878千円 ○インダクトヒーター 9台 8,055千円 ○スポットクーラー 13台 4,133千円 ○組立式シャワー 3台 9,050千円 ○多目的ハウス（仕切り） 30台 1,426千円 ○自動ラップ式簡易トイレ 30台 5,676千円 ○蓄電池 11台 3,267千円 ○煮炊き用こんろ 12台 423千円 ○浄水装置 3台 8,778千円 ○備蓄倉庫 9台 22,335千円 	 <p>村民等を対象とした防災訓練・防災学習での資機材活用</p> <p>包括連携協定を締結しているアウトドア企業との連携イベントにおいて資機材活用。関係人口を創出する。</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）※一つ以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災訓練等の資機材の利用者数 ②協定企業等と連携した資機材を活用したイベントの参加者数 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）※一つ以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災の取組に関するイベント参加者の認知度 ② ③ 			

事業概要（避難生活環境の向上）

自治体名	京都府京都市	人口	1,437,092人	事業費	95,000千円
事業概要	<p>高齢者や障害者等の特に配慮が必要な避難者を対象に、避難所開所当初から段ボールベッド・間仕切りテント等を設置できるよう、資機材の拡充を行う（福祉避難所については補助金交付制度を創設）。また、災害時の実効性の確保や、地域住民及び社会福祉施設職員等の防災意識の向上につなげるため、平時から地域や福祉避難所における防災訓練をはじめとするイベント等で当該資機材を積極的に活用する。</p>				
購入する資機材等の内容	<p><一般避難所> ○段ボールベッド 3千個 5,600万円</p> <p><福祉避難所事前指定施設> ○補助金交付制度の創設 3,700万円 【対象とする資機材】 段ボールベッド類、パーティション類、発電機類</p> <p><妊産婦等福祉避難所事前指定施設> ○ポータブル電源、可搬式空調機器 各5台 200万円</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>段ボールベッド</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>パーティション</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ポータブル電源</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬式空調機</p> </div> </div>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）※一つ以上】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①段ボールベッド類の配備件数 ②交付金事業で購入及び補助した資機材の地域イベントでの利用 ③蓄電池や可搬式空調機器の整備件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）※一つ以上】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①48時間以内に要配慮者を対象にした段ボールベッド等の設置を見込む避難所数 ②開設から24時間以内に蓄電池や可搬式空調機器の設置を見込む妊産婦等福祉避難所数 			

事業概要（地域拠点避難所整備事業）

自治体名	福井県敦賀市	人口	62,357人	事業費	76,000千円
事業概要	<p>※市内10地区における公民館等を地域の拠点避難所と位置付け、TKB（トイレ、キッチン、ベッド）を中心とした資機材を購入し、避難所の環境整備を行います。</p> <p>※地元大学、各地区区長会、防災士会及び子ども食堂ネットワークと連携し、平時の防災及び地域のイベント等で購入資機材を活用することで、災害に備える意識を醸成し、もって地域防災力の向上を図ります。</p>				
購入する資機材等の内容	<p>【T】簡易トイレ 24台 14,612千円</p> <p>【K】デリバリーステーション 14台 8,387千円 ワンタッチタープテント（大）15台 7,854千円 低温貯蔵庫 2台 486千円</p> <p>【B】簡易ベッド 140台 2,048千円 簡易ベッド（多目的） 24台 883千円 段ボールベッド 140台 1,617千円 プライベートルーム 150台 13,398千円 ファミリールーム 150台 7,095千円</p> <p>【他】ポータブル電源 17台 6,287千円 ワンタッチタープテント（小）25台 9,515千円 ジェットヒーター 4台 1,624千円 水循環型手洗いスタンド 1台 2,194千円</p>		 <p>・住民主体の避難所運営に向けて、各種団体と連携し、購入する資機材を活用して、避難所の運営を検討する避難所ワークショップを開催します。</p> <p>・各種団体の防災訓練や地域行事で、TKB（トイレ、キッチン、ベッド）を中心とした資機材を活用し、使用方法等を理解します。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①簡易ベッド・プライベートルームの備蓄数</p> <p>②交付金事業で購入した資機材を用いた防災訓練</p> <p>③交付金事業で購入した資機材の地域イベントでの利用</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①地域拠点避難所整備に関する地域住民の認知度</p> <p>②発災後48時間以内にプライバシー環境確保がされた拠点避難所数</p>		

事業概要（自己完結型被災地支援車両等整備事業）

自治体名	愛媛県	人口	1,334,841 (R2.10.1国勢調査)	事業費	114,000千円
事業概要	<p>能登半島地震の被災地においては、水道・電気・道路等のライフラインが途絶したことによる生活衛生環境の悪化が、被災者の命と健康を脅かしたところであり、中山間地域や半島地域を多く抱える本県の地域特性は能登地域と共通しているため、自己完結型の被災地支援（GADM、リエゾン、対口支援など被災自治体への業務支援）用の車両及び蓄電池、災害時の医療体制維持に資する医療用コンテナを整備し、地域防災力向上を図る。</p>				
購入する 資機材等の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○自己完結型被災地支援車両 （キャンピングカー） 1台 12,734千円 （うち国費6,367千円） ○大容量ポータブル蓄電池 40個 79,412千円（うち国費39,706千円） ○高付加価値型コンテナ （医療用コンテナ） 1台 21,854千円 （うち国費10,927千円） 		 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）※一つ以上】</p> <p>①車両及び蓄電池並びにコンテナを活用した防災訓練及び防災イベントの開催回数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）※一つ以上】</p> <p>①被災地支援車両及び蓄電池並びに医療用コンテナの整備率</p>		